

令和7年4月期 業務実績報告書（経営総務課）

一般事項

1 水道料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,133	30,133	30,200	30,207	△ 67	△ 74
2 調定水量	m	577,539	577,539	581,800	591,478	△ 4,261	△ 13,939
3 調定料金(税抜)	円	179,481,695	179,481,695	180,000,000	181,955,134	△ 518,305	△ 2,473,439
4 口振加入件数	件	24,560	24,560	-	24,733	-	△ 173

2 下水道使用料調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	19,465	19,465	19,470	19,301	△ 5	164
6 調定水量	m	372,236	372,236	369,830	374,286	2,406	△ 2,050
7 調定料金(税抜)	円	78,223,119	78,223,119	78,550,000	69,762,608	△ 326,881	8,460,511

3 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	71,145	-	72,532	△ 1,387
9 給水件数	件	30,181	-	30,225	△ 44
10 開栓処理件数	件	517	517	518	△ 1
11 閉栓処理件数	件	259	259	299	△ 40
12 給水工事設計審査	件	21	21	40	△ 19
13 給水工事竣工検査	件	36	36	36	0
14 経年メーター交換	件	151	151	316	△ 165
15 メーター口径変更	件	5	5	0	5
16 督促状発送数	件	1,420	1,420	1,436	△ 16
17 月末停止件数	件	121	-	114	7

4 排水設備業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	21	21	32	△ 11
19 排水設備工事完了検査	件	18	18	20	△ 2

5 水道料金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率	B-D
20 当年度分	197,311,854円	0.06%	200,048,168円	0.05%	0.01%
21 過年度分	14,964,641円	92.47%	16,728,269円	91.82%	0.65%
22 計	212,276,495円	-	216,776,437円	-	-

6 下水道使用料徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率	B-D
23 当年度分	86,043,705円	0.00%	76,735,538円	0.00%	0.00%
24 過年度分	17,593,538円	82.74%	15,138,769円	83.63%	△0.89%
25 計	103,637,243円	-	91,874,307円	-	-

7 受益者分(負)担金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率	B-D
26 当年度分	0円	-	0円	-	-
27 過年度分	1,343,600円	0.97%	1,375,400円	2.74%	△1.77%
28 計	1,343,600円	-	1,375,400円	-	-

特記事項

1 令和7年4月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

【水道事業】

ア 収益的収支

当期の給水収益は197,430千円（税込）で、前月期に比べて12,970千円の増、対前年同月比では2,721千円の減となっています。営業収益は197,841千円、営業外収益は事務手数料や預金利息など6,781千円となりました。

当期の営業費用は動力費や職員給与費など29,072千円、特別損失は83千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、補償金や水道加入金70,265千円の執行となりました。支出は、建設改良費として事務費3,614千円を執行しました。

【下水道事業】

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は86,045千円（税込）で、前月期に比べて6,703千円の増、対前年同月比では9,307千円の増となっています。営業収益は86,046千円、営業外収益は他会計補助金や負担金など501,744千円を執行しました。

当期の営業費用は動力費や職員給与費など24,909千円、特別損失は下水道料金減額分として77千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、国庫補助金や県補助金として60,760千円の執行となりました。支出は、建設改良費として事務費2,608千円を執行しました。

2 令和7年4月の出来事

(1) 職員会議を開催

4月1日（火）に令和7年度第1回職員会議を開催しました。上下水道部は、地方公営企業法第39条第1項の規定により地方公務員法の適用が一部除外されており、時間外勤務については、労働基準法第36条の規定により市長と職員との間で協定を締結する必要があります。会議では令和7年度の時間外勤務、休日勤務について協議され、協議の結果、協定案は承認され、協定書並びに関係書類を瀬峰労働基準監督署に提出しました。

(2) 資金管理運用委員会を開催

4月14日（月）に令和7年度第1回資金管理運用委員会を開催しました。同月18日に仙台銀行への3億円の定期預金と、同月22日にみやぎ登米農協への3億円の定期預金が満期を迎えることから、今後の資金運用について協議を行い、協議の結果、引き続き仙台銀行に3億円、みやぎ登米農協に3億円を1年間定期預金として預け入れることとしました。資金管理については、引き続き、安全・確実かつ効率的な管理運用を図っていきます。

(3) 例月現金出納検査の実施

4月25日（金）に例月現金出納検査が実施されました。この検査は毎月実施されているもので、各会計の現金の出納事務が正確に行われているか、また諸帳簿等の係数を確認し、その管理が適切に行われているかを検査しているものです。検査の結果、適正に予算が執行されており、現金預金残高は金融機関発行の預金残高証明書と符合し、適正であることの評価をいただきました。

令和7年4月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位: m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	812,314	812,314	766,550	811,830	45,764	484
総配水量	753,373	753,373	713,070	757,307	40,303	△ 3,934
1 有効水量	611,218	611,218	616,750	623,944	△ 5,532	△ 12,726
(1) 有収水量	581,989	581,989	586,300	595,922	△ 4,311	△ 13,933
(2) 無収水量	29,229	29,229	30,450	28,022	△ 1,221	1,207
2 無効水量	142,155	142,155	96,320	133,363	45,835	8,792
(1) 漏水量	142,095	142,095	95,700	133,320	46,395	8,775
(2) その他無効水量	60	60	620	43	△ 560	17
3 有収率	77.25%	77.25%	82.22%	78.69%	△ 4.97%	△ 1.44%

※ 当月期の最大配水量は、4月24日（木）に記録した【26,035m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
浄水施設整備事業	1	2,295,608	0	2,240,955	0	659	53,994	97.6%
配給水施設整備事業	44	1,214,395	0	121	0	2,955	1,211,319	0.3%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む。）の合計です。

特記事項

1 プロポーザル審査委員会を開催

当市においては、浄水施設及び配水施設に関しそれぞれ業務委託契約を締結し、管理運転・維持管理を行っていますが、これらの契約が今年度末をもって終了することとなります。

このことから、来年度からの業務を受託する業者をプロポーザル方式で選定することとし、受託業者の選定に係る実施要領や審査基準を審議するため、4月23日に「登米市水道事業浄水施設等管理運転業務委託及び登米市水道事業配水施設等維持管理業務委託プロポーザル審査委員会」を開催しました。

当審査委員会は、浄水施設及び配水施設維持管理に関して識見を有する者など5名の委員で構成されており、次の会議においては、応募書類の審査、契約候補者の選定等について審議いただきます。

2 施設見学会事前説明

4月16日、22日及び25日に保呂羽浄水場施設見学会に係る事前説明を実施しました。保呂羽浄水場は現在再構築事業による改修工事を実施していることから、安全面等を考慮し、施設見学会を希望する学校に対しては、事前に見学会ルートや工事状況の説明を実施することとしております。

今回は登米小学校、佐沼小学校及び東郷小学校の担当者がそれぞれ来場し、浄水施設等管理運転業務受託者が説明を行いました。今後も順次同様の対応を行い、事故が発生しないよう施設見学会を実施していきます。

◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m ³ /h)
	配水管	4	20.300
	付属施設	0	0.000
	給水装置	14	4.280
	計	18	24.580

【漏水調査結果：4月（累計）】

※参考：漏水量削減効果（金額換算）

約171,714円/日当たり

算定：R5年度給水原価 291.08円

累計漏水量 24.580m³/h

24.580m³/h×24h×291.08円



下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位: m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D) 対前年度 (B)-(C)	備考
公共下水道(迫・中田・登米・南方)	232,834	232,834	253,373	△20,539	1処理場
特定環境保全公共下水道	55,053	55,053	51,022	4,031	3処理場
米谷・錦織処理区	16,278	16,278	10,395	5,883	
豊里処理区	28,830	28,830	29,545	△715	
津山処理区	9,945	9,945	11,082	△1,137	
流域関連特定環境保全公共下水道(石越)	10,882	10,882	11,595	△713	
農業集落排水	98,643	98,643	109,002	△10,359	24処理場
迫地区	7,627	7,627	8,206	△579	
東和地区	2,540	2,540	2,704	△164	
中田地区	28,081	28,081	31,249	△3,168	
豊里地区	1,842	1,842	1,944	△102	
米山地区	40,104	40,104	46,046	△5,942	
南方地区	18,449	18,449	18,853	△404	R7.4.1時点
浄化槽(特地・個排)	43,136	43,136	42,772	364	2,204基
合計	440,548	440,548	467,764	△27,216	

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	8	508,469	0	484	0	583	507,402	0.2%
ポンプ施設整備事業	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
処理施設整備事業	90	811,212	0	968	0	2,026	808,218	0.4%

※金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計金額を記載。件数は、更新工事を除いた件数を記載。

特記事項

1 浄化槽整備推進事業の受付状況

令和7年度における浄化槽整備基数は80基を予定しています。4月期の浄化槽設置に伴う申請は、令和6年度分も含め13件を受付しており、早期の事業着手を目指し現地調査などの作業を進めています。

※浄化槽整備推進事業は、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、市が設置主体となり、公共下水道事業及び農業集落排水事業の計画区域以外の地域に合併処理浄化槽の整備を推進しています。

2 脱水機コンパータファンの修繕

豊里町の豊里処理区内の汚水処理している豊里浄化センターにおいて、脱水機のコンパータに不具合が発生し原因を調査したところ、内部ファンの故障であることが判明しました。内部ファンを新しい物に交換することで不具合が解消され、正常に稼働することが確認できました。

今後も下水道施設において安全・安心を確保するよう、適切な維持管理を行ってまいります。

○浄化槽整備事業受付状況

(4月末現在)

予定件数	受付件数	残件数
80	13	67



【修繕後の状況】